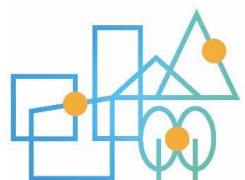




『バイオガスプラント』を核としたまちづくり



脱炭素先行地域
北海道 鹿追町 (第1回選定)

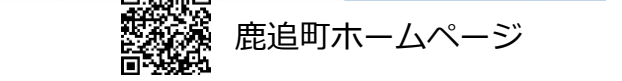
北海道鹿追町 草野 礼行



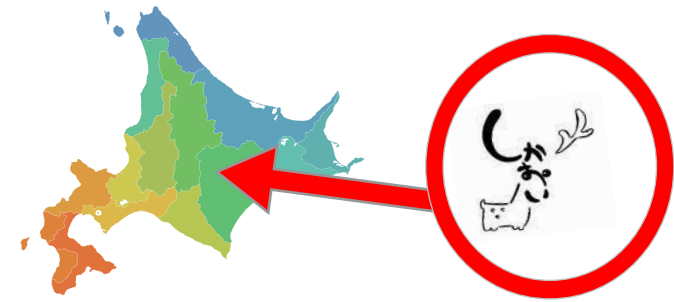
とち鹿追ジオパーク



北海道鹿追町の紹介



- 地形 大雪山東山麓 標高200～300m
東西17.7km 南北39.8km
十勝管内の純農村地帯
- 気候 年平均気温6.1℃ (夏17℃、冬-12℃)
降水量932mm
- 人口 5,087人、2,500世帯 (令和5年7月末時点)
- 産業 1次産業人口35% 2次産業人口8% 3次産業人口57%
極端に2次産業が少ない構成
- 農業 (令和4年実績) 農業産出額 約238億円 酪農・畜産76% 畑作24%
乳牛21,000頭 肉牛10,000頭 (乳雌及びF1)
- 主要作物 牛乳、牛肉、ビート、馬鈴薯、豆類、小麦、飼料作物、キャベツ、アスパラガス、そば
- その他産業 然別湖を核とした観光産業、ファームイン等
観光客入込数 約78万人
自衛隊駐屯地 (陸上自衛隊第5戦車隊)
- 日本ジオパーク認定の町 (2013(平成25)年)
- ゼロカーボンシティ宣言の町 (2021(令和3)年)
- 環境省 脱炭素先行地域選定(第1回)の町(2022(令和4)年)
- 環境省 重点対策加速化事業採択の町(2023(令和5)年)



酪農の盛んな鹿追では乳牛のふん尿を適正に処理するだけでなく、生ゴミや下水汚泥も有効活用し、観光客や環境にも優しい「バイオガスプラントを中心とした地域循環型のまちづくり」に取り組んでいます。

バイオガスプラントを 中心としたまちづくり

リデュース・リユース・リサイクル(3R)推進功労者等表彰
2020(令和2)年度内閣総理大臣賞受賞



1 中鹿追バイオガスプラント

鹿追町 環境保全 センターとは？

基幹産業である農業と観光の共存共栄を目指し、家畜排せつ物や生ゴミ、下水汚泥の適切な処理、バイオマスの有効活用を行う施設。バイオガスプラント・堆肥化プラント・コンポスト化プラントの3施設を核として、地域資源循環型社会を推進しています。

めぐる農業
生まれるエコエネルギー

バイオガス プラントの活用



バイオマス資源の活用先



水耕栽培(瓜幕)



チョウザメ飼育施設



町内個別畜産農家



マンゴー栽培



バイオガスプラントについて



2 瓜幕バイオガスプラント

鹿追町環境保全センターの後にできた瓜幕バイオガスプラントは原料となる家畜排せつ物等の処理能力を大幅にアップし、未来へ向けたさらなるエコエネルギーづくりに邁進しています。

“国内初”家畜ふん尿を活用した水素事業

2023(令和5)年度EST交通環境大賞 環境大臣賞受賞

2015年から環境省実証事業が本町で開始され、FCEVやFCフォークリフトの運用等の水素供給により、水素を安定して「つくる・はこぶ・つかう」ことを証明。
実証の成功を踏まえ、2022年より町と民間企業が連携し水素サプライ事業を商用化。

つくる

つかう・はこぶ



道内唯一の定置式水素ステーション

水素燃料電池車 町内21台導入
(公用車10台、民間事業者9台、個人2台)



しかおい水素ファーム
開所セレモニー動画



更なる
水素の地産地消

更なる水素燃料電池車ユーザー拡大を図るため、
「中古車」を対象とした町独自補助(2022年10月～)



脱炭素自動車導入普及促進補助制度

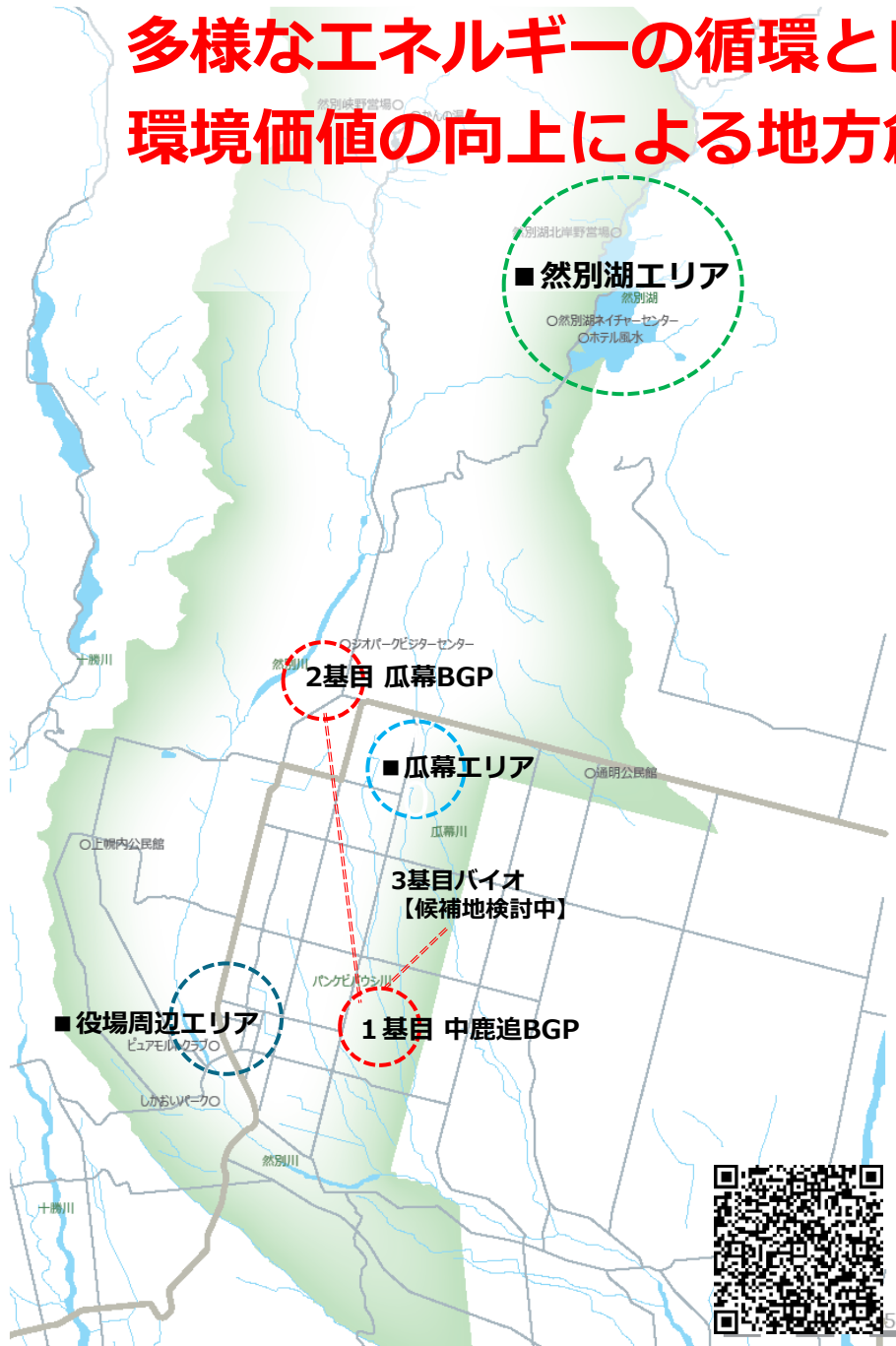


企業様への協力依頼

- 水素ステーション運営経費や水素燃料自動車普及に関する事業など水素利用拡大のために企業版ふるさと納税によるご支援をお願いします！

多様なエネルギーの循環とレジリエンス強化

環境価値の向上による地方創生モデル「MIRAI COUNTRY」の提唱



■ 役場周辺エリア ZEC化プロジェクト

本町から製造される水素の利活用推進を図るため、**自営線ネットワーク内施設の“ZEC”化（9施設+1施設（新道の駅））整備や公用車の脱炭素化**を進めます。

【主要公共施設のZEB改修・水素燃料電池、太陽熱、太陽光、蓄電池、EV、PHEV、FCバスの導入・化石燃料由来の冷暖房設備の電化】

■ 瓜幕エリア ゼロカーボン教育・交流拠点整備プロジェクト

山村留学を通じて、瓜幕エリアの移住・定住・関係人口創出を図るため、**新山村留学センターを整備し、本エリアのコミュニティ施設のRE100化**を整備します。

【ZEB新設、太陽光発電・メタンガスコジェネによる自営線マイクログリッド、V2Hの導入】

■ 然別湖エリア ゼロカーボンパーク化プロジェクト

国立公園内にある既存ホテルのZEB化を進め、環境価値の向上による観光振興と自然保護に向けてゼロカーボンパーク化を進めます。

【ZEB化、温泉熱ヒートポンプ、V2Hの導入】

■ エネルギー供給エリア

3基目バイオガスプラント（BGP）整備プロジェクト

地域新電力会社を設立し、BGPで発電した電力を**鹿追町内の全需要家に供給**を目指します。

【発電電力量：約1,900万kwh(24時間発電)】

瓜幕エリア(ゼロカーボン教育・交流拠点の創出)

- 昭和63年瓜幕地域で「自然体験留学制度(※)」が開始し、心豊かにたくましく生きる子どもを育てるため、町や地域、父母の協力を得て、地域・学校の活性化と教育の振興・充実を図ってきました。
- 山村留学を通じて、移住・定住・関係人口創出を図るため、老朽化した施設(S47年)を新山村留学センターをZEBで整備し、太陽光とメタンコジェネを柱に**本エリアのコミュニティ施設**のRE100化を整備します。



瓜幕自然体験留学制度とは？
詳細は、左のコードをお読み取り頂きご確認ください。



役場周辺エリア(ZEC(ゼロ・エネルギー・コミュニティ)の確立)

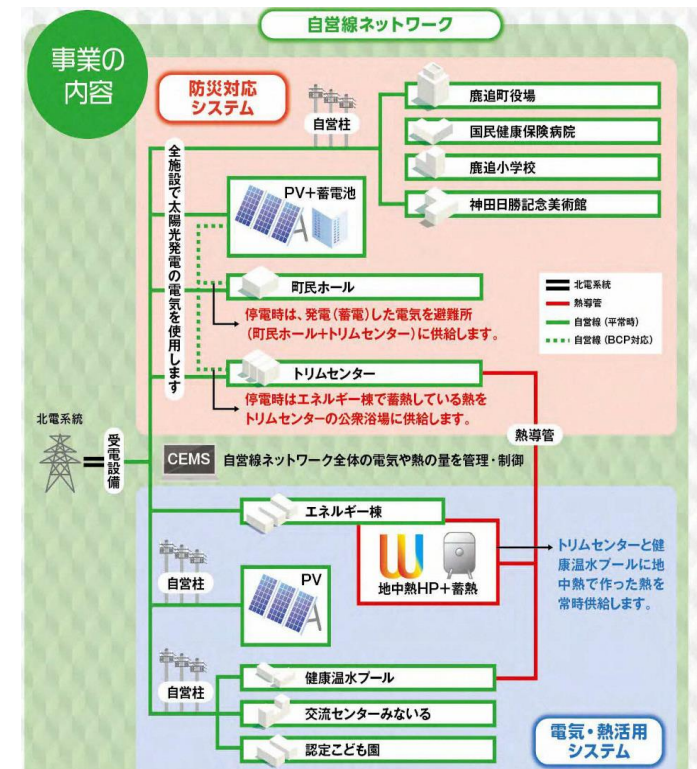
- 平成初期に建設した公共施設群の老朽化問題が喫緊の課題。
- 水素燃料電池をはじめとする多様なエネルギーを融通し、**自営線ネットワーク**(※)内施設の“ZEC”化(9施設+1施設(新道の駅))整備を進めます。



自営線ネットワークとは？
再エネの最大導入、最大活用を目的とした熱と電気のネットワークです。
2022(令和4)年度新エネルギー財団会長賞受賞
2021(令和3)年度北国の省エネ・新エネ大賞受賞

企業様への協力依頼

- 新山村留学センター整備・役場周辺エリア整備**のため企業版ふるさと納税によるご支援をお願いします！



鹿追町の取り組みに興味をいただき、共にカーボンニュートラルな未来について考え、企業の皆様とつながり、一緒に新たな脱炭素社会のまちづくり実現に向けての「仲間づくり」を展開中です。

また、本町が仕掛ける鹿追型ワーケーション「シカソン(※)」により、環境分野における関係人口・交流人口の拡大、参加企業様との連携による地域課題解決型のワーケーションプログラムを行っています。

企業様のメリット

- 脱炭素支援企業、SDGs・社会貢献企業としてブランド価値の向上
- パートナーシップの構築
- 地域資源などを活かした新事業展開
- 町民と共に学び、考え、行動する機会を創出
- 町民への普及啓蒙活動
- 子どもたちの教育支援
- 環境学習への支援の可能性
- 寄附活用事業で整備された施設の銘板などに名前を掲載
- 町長表彰、HP・広報誌による企業PR



「シカソン」とは？

「鹿追（シカオイ）町」を訪れた方とともに、環境をテーマに一緒にマラソンを走るかのように学び、考え、持続可能なゴールを目指すショートステイプログラムです。詳細は、上のコードをお読み取り頂きご確認ください。

ご清聴頂きましてありがとうございました。

北海道鹿追町 草野 礼行



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【連絡先】

北海道鹿追町役場

企画課企画係 林（プロジェクト関係）

mail : kikaku@town.shikaoi.lg.jp

総務課財政係 武者（企業版ふるさと納税）

mail : soumu@town.shikaoi.lg.jp

TEL : 0156-66-2311（代表）